

2023/9/17 開催：奈良市「自伐型林業の教室」質問及び回答【作成：自伐型林業推進協会】

※一部：奈良市、フォーラム登壇者にて回答

| 整理番号 | 質問/意見 | 回答 | 回答者 |
|------|--|--|-----|
| 1 | 森林の購入や借地の方法を教えて欲しいです。 | 森林の購入や借地の方法は、地域によって異なる規制が存在し、具体的な手順は所在地によって異なります。農地よりも譲渡や借地は簡易ですが、具体的な手段は、地元の情報を集めることが重要です。物件の調査、価格交渉、同意の取り方など個別の事情に寄って異なります。 | 自伐協 |
| 2 | 中嶋さんのプレゼンに使用された資料（パワーポイント）を自伐型林業推進協会のホームページなどから見られる様にして頂けないでしょうか？そのほか、閲覧できる機会やツールを教えてください。 | 自伐型林業推進協会では You Tube で「ZIBATSU チャンネル」として、自伐型林業にかかわる配信を行っています。今回のイベントの様も流していますし、過去に行った中嶋のプレゼン動画も上がっていますので、そちらからご確認頂ければと思います。 ZIBATSU チャンネル： https://www.youtube.com/@ZIBATSU | 自伐協 |
| 3 | 現時点で自伐型林業家は何名ほどいますか。 | 3,000 人ほどです。 | 自伐協 |
| 4 | メガソーラー反対運動をしています。皆伐が災害を引き起こすという観点で、林野庁、環境省、国政議員等にプレゼンは可能でしょうか。また、全国再エネルギー問題連絡会の Zoom 会議等でゲストスピーカーとしてのご参加可能でしょうか。 | 皆伐をとまなうメガソーラーは大変な問題であると認識しています。プレゼンや発表は可能なので、WEB サイトのお問い合わせよりご依頼ください。 お問い合わせ： https://zibatsu.jp/contact/ | 自伐協 |
| 5 | 近年多発する自然災害へのリスク対応について、具体的な対応についてどのようなものがありますか？たとえば、損保や森林保険への加入、引当金の繰入れなどの考え方についてご教示願います。 | 自然災害へのリスク対応は、保険の加入など個人や組織によってもさまざまあると思います。自伐型林業推進協会としてはいかに災害を起こさないような林業の施業をするかという提案と実践を行っており、環境変化を極力起こさない間伐や道作りを提唱しています。発生してからの森林所有者の対応については、各自の事情に合わせた個別相談での対応となります。 | 自伐協 |
| 6 | 日本のみずみずしく香しい木を活かしたフローリングや家具を作って輸出したいと思っています。スギ・ヒノキなど針葉樹だけでなく、カシ・クリ・シイ・ナラなどの広葉樹も出伐することは可能でしょうか。それらはどこに生えているか（位置）把握していますか。 | 広葉樹が多い地域でも自伐型林業は展開されています。針葉樹と同様に、多間伐施業しながら搬出しています。ただ家具用材の流通は確立しておらず、メーカー等に直接出荷するケースが多い状況です。岩手県の盛岡市場や北海道の旭川市場では広葉樹が一定流通しています。家具生産地（福岡・広島・岐阜・北海道）中心に流通を創出してもらいたいですね。 | 自伐協 |
| 7 | 材木の価格低下の原因は何でしょうか。日本の高価な木材を買ってくれるところはありますか。 | 日本の建築材が合板・集成材に中心になったためです。合板・集成材の原木はB材（1m3 単価が 1 万円程度）の低質材でよいからです。さらに木質バイオマス発電所がここ 10 年で激増したため、燃料材の需要（C | 自伐協 |

| | | | |
|----|---|--|------------|
| | | 材)が激増したためさらに下がりました。A材は高品質無垢材ですが、無垢材を使う建築が減ったため、A材として使われる良質原木までもがB材や燃料材(C材)として使われるという悲しい事態になっています。日本は山林が林業盛んな他国より極めて険しいため、欧米やロシアと比べて搬出コストが10倍以上高くなります。故に日本及び世界の木材流通に高品質材市場を創出して、その良質材市場のシェアを上げていくことが日本林業再生に向けて重要な点と言えます。 | |
| 8 | 奈良県林業の課題は山が急峻なため「林道整備が困難」と以前聞いたことがあります。どうやって林道を作ったらいいでしょうか。 | 急峻な山、厳しい山には道はつけないという判断をし、安全を第一優先にしています。作業道を入れる山は、価値が高くなっていく山とみなし、重点的に整備できるような仕組みを作っています。 | 下北山村(北氏) |
| 9 | 作業道について、路面を強化(硬くする)するためにはどのような方法が考えられますか。 | 土壌の状態などによって方法は異なってまいりますので、一概にこうとは言えません。自伐型林業体験研修に来て頂き、実際に目で見て学んでいただければと思います。 | 自伐協 |
| 10 | 山林に手を入れると、田畑の獣害がへるメカニズム(理由)とはどのようなものでしょうか。 | 山に人が入ることで野生動物が警戒して離れたり、山林の整備によって野生動物の隠れ場所が減少したりすることで、獣害を減らす効果があります。林業と同時に狩猟を行っている人もいるため、野生動物の数が減るといったケースもあります。 | 自伐協 |
| 11 | 奈良市では薪ストーブやペレットストーブに対する補助がありませんが、森林が多いのになぜ助成しないのでしょうか | (奈良市) 本市は今年度本事業のスタートを切り、これから自伐型林業の展開を進める場所ですので、今後、補助制度についても検討していきたいと考えています。 (自伐協) 原木を割って乾燥させる程度の薪を利用するストーブはいいですが、作るまでに燃料使ってコストかけるペレットは環境に良いとは言えず、供給側(林業者)のメリットも少ないので注意が必要です。 | 奈良市 自伐協 |
| 12 | 行政としてこのようなフォーラムに関わるのはめずらしいと聞きました。奈良市としてどのようにかかわっていかれますか。 | 本市においては、今回の「自伐型林業の教室」をキックオフイベントと位置付け、本年度は自伐型林業の体験研修から手掛けていく予定です。 体験研修を受講してくださった方には更に実践的なステップアップ研修を予定しており、自伐型林業家としての就業が可能となる水準まで技術の底上げをしていただくことが狙いです。 この研修の流れは次年度以降も可能な限り継続していきたいと考えています。 それと同時に、自伐型林業の舞台として提供してもよいという山林所有者に呼びかけを行い、就業希望者とのマッチングを図ります。 | 奈良市 |

| | | | |
|----|--|--|------------|
| | | ただし、山林所有者の同意のみで集積を行うのではなく、その山林が林業に適しているか否かという検討を重ねるなど、本市ならではの自伐型林業のスキームを考えてまいります。 これは自伐型林業家になっていただくことのみを目的とするのではなく、自伐型林業を続けていける土台作りも大切であると認識しているためです。 | |
| 13 | 従来型の林業が経済的に破城しているのは、2,000億円の木材生産に3,000億円の補助金をかけていることから自明ですが、自伐型林業が2割間伐で行う以上、それだけ施業面積が確保出来ないと自立できないのではないかと思います。奈良市としてどのように進めていけますか。 | 施業面積の確保は、重要な課題です。担い手育成と同時に、山林確保に向けて自伐型林業推進協会と協議しながら進めていきます。 | 奈良市 |
| 14 | 奈良市は小規模な森林所有者が多く集約化は難しいと考えています。なぜ「自伐型林業」の推進を開始することになったのかその経緯をご教示願います。市長が出席されているのでトップダウン型でしょうか。 | 林業において、担い手の確保が大きな課題であり、市として自伐型林業に可能性があると判断し、検討を重ねた経緯があります。本市にとって初めての試みであるため、今後も積極的に事業を展開するため市長が参加したものです。 | 奈良市 |
| 15 | 学童保育施設の板倉構法での取り組みなどの事例はありますか？ | 板倉工法による無垢材利用は進み公共施設も増えているようです。ただし施業の仕方は過度な間伐によるものも見受けられるので注意が必要です。環境保全型の自伐型林業の観点で言えば、無垢材の木材を活用して利用することを推奨しています。 | 自伐協 |
| 16 | 徳島の橋本山林から刈り出された木材は加工されて、どのような所で利用されているのでしょうか。「自伐材」というブランド材になったりしないのでしょうか。 | 基本は市場へ出荷していますが、目的が予め決まっている注文材も多いです。特に高樹齢は市場へ出回ることが少ないので、直接発注となります。 | 自伐協 |
| 17 | 目標とする林齢や林型の決め方について具体例などがあれば教えて頂きたいです。間伐スパンの根拠等も合わせて教えて頂ければと思います。 | 植林から50年を伐採して植え直すという人工林の循環が一般的ですが、自伐型林業については樹齢の一律化はしてません。代わりに、伐採時期を長期にする「長伐期多間伐」という施業を心がけています。それは、成長量を超えない間伐を繰り返して（多間伐）、良質材を育て、森林全体の総量（材積）を増やしていくというものです。間伐は同じエリアは7～8年ごとを目安にしています。エリアを樹種や地形に寄っても異なりますのでご注意ください。 | 自伐協 |
| 18 | 自伐型林業では新たに植える木の種類は杉やヒノキでなく、どんぐりの木等の広葉樹でも問題ないでしょうか。 | 針葉樹と広葉樹を合わせて育成するのはなんの問題ありません。ただ、広葉樹を育てる際には、適切な木種の選択や管理の計画、樹木の成長サイクルへの理解が必要です。土地それぞれで特性が異なるため、対象エリアでよく成長している木を観察したり、地元の人にも聞いてみたりするのも良策です。 | 自伐協 |
| 19 | 脱サラしての林業への転職において、時に初期の収入に不安があります。転職された方々は収入不安をどのように乗り越えられ | 年収は欲しいだけと言えます。ただ、最初は苦労すると思います。僕も補助制度が整っておらず、森林山村多面的交付金しかない | 福井 (宮田) |

| | | | |
|----|---|---|-----------|
| | ているのでしょうか。自伐型林業の年収や閑散期と繁忙期のバランスを知りたいです。 | 状態からスタートしました。チェーンソーが使えるようになると、それに関連する仕事の声がかかるようになります。20日請負、10日自伐のような状態でした。技術が上がるにつれ、単価を上げるようにし、そのころに行政の補助制度が組み込まれたので、比重を自伐に傾けるようになりました。今では、請負は収益が取れるものだけに絞っています。チェーンソー故障なども発生したりするので、そこも念頭に入れておく必要があります。 | 氏) |
| 20 | 材の現金化についてどれくらいの木がどれくらいで売れるのか知りたいです。燃料、チェーンソー代などをまかなえますか。 | 材木の種類や曲がり、状態や質などによって金額はもちろん違います。また、地域によっても違いますし、一年を通じて金額にも変動があります。木材市場によっては市況(価格表)をWEBなどに出しているところもあるので、まずは近場の木材市場がどこかを調べて見てみるのはいかがでしょうか。 参考) 上吉野木材協同組合様： https://kamiyoshino.com/summary | 自伐協 |
| 21 | 農×移住として、小さい農の担い手育成や呼び込みに取り組んでいます。自伐型林業を学んでいるメンバーにも入ってもらい、森×農×移住の展開を考え始めています。地域、周辺でまず知ってもらい、機運を高めていくには、まず何をするのがよいでしょうか(お話会、研修会、モデル地作りなど) | まずは、みんなで知って学べる場が必要だと思います。奈良市で行ったようなイベントがそうです。自伐型林業推進協会の素材としては、会報誌や映画DVDもあります。もし人が集まるようならば、地域自治体や自伐協と企画してもいいと思います。 | 自伐協 |
| 22 | 自伐協の会員の集いのようなものが奈良市又は各市、例えば桜井市 etc.などであるのでしょうか | 特に会員の集いなどは行っておりませんが、サポーター会員向けの相談会などの開催などを検討しております(過去に開催実績あり) | 自伐協 |
| 23 | 神社仏閣で使用する材を育てるため、100～200年後をみすえた森林施業をするには具体的にどう考えれば良いでしょうか。 | 林業は長いスパンで考えないといけないものです。吉野には200年、300年の木がたくさんあります。100年前後の木が主流ですが、何に使うかを決めて木を植えることはできません。世の中はどんどん変わっているのです。成長した後に何に使うかはわからないからです。木材が一番多く使われるのは建材ですが、どんな住宅が求められているかは時代によって異なります。今はバイオマスの時代になっていて、早生樹を植えようという風潮がありますね。スギやヒノキが合うところにはそれを植え、合わないところには別のものを植える必要があります。奈良の東部ならコヌギ、ナラなどの20年で収穫するもの。間伐で太くなったものから伐っていくというものをやっていくのがいいと思います。花粉症が問題になっていますが、そもそもスギやヒノキを土壤に合わないところに植えたことが要因です。 | 吉野地域(岡橋氏) |
| 24 | 自伐型林家さんの施業地の確保はどうしているか。森林経営管理制度に基づいたものか。 | 施業する者が自ら確保することが基本ですが、市町村が支援できる場合は森林経営管理法に基づく所有者アンケート等を活用 | 自伐協 |

| | | | |
|----|--|--|----------|
| | | し、市町村独自のシステムを構築して山林確保支援をする事例が増えてきています。その際には長期的契約が可能とし、多間伐施業を実施すること、作業道は使い続けられる小規模作業道等を条件にすることが重要となります。 | |
| 25 | 自伐型林業での植林の際、苗木の獣害対策は行うのか。 | 自伐型林業では、植林には取り組まず既存の山を整備していくことが基本となります。 | 自伐協 |
| 26 | 自伐型林業では次の若木を芽生え育てるのにどのような手法をとられていますでしょうか。 | 自伐型林業は手の入っていない山を相手にしているため、最初は間伐からスタートしています。間伐により光と風をコントロールし、下の植生、次が育つようにすることが第一歩です。 | 自伐協 |
| 27 | 樹冠長率が 20%を切るような 50 年生以上の未整備材が増えていますが気象害を考えると間伐もなかなか難しい気持ちになります。小規模皆伐などの手法による材相改定が考えられると思いますが、どう考えられますか。 | 放置林化されたバランスの悪い状態になった山林でも、すぐにあきらめるのではなく、1 割以下の間伐を 5 年間隔で実施する等工夫することが重要だと思います。作業道を敷設すると風が入りそうな場合は、弱度の切り捨て間伐等を実施するか、立ち枯れ間伐(まき枯らし)もありだと思います。数十年の年月は長いのであきらめず試してみることが重要だと思います。実際にそれで復活した山林も見てきました。 | 自伐協 |
| 28 | 山林の所有又は施業地確保の支援制度はありますか。 | 一般の方が施業地を確保するためのメニューとしては「森林整備地域活動支援交付金」という国の制度があります。内容は「境界明確化」「経営の集約化(経営計画の策定)」ですが、基本的には地域を知っている人か、林業ができることという前提があって成り立っています。「地域に身寄りがない、林業も素人だが自伐型林業をしたい」ということであれば、自治体の支援が受けられる地域おこし協力隊になるという方法が一番早いのではないかと思います。 | 下北山村(北氏) |
| 29 | 林野庁、森林組合が全面的に自伐型林業を進めないのはなぜでしょうか | 短伐期皆伐施業決めてから 50 年が経っています。システムや既存体系が既に出来上がっていることが要因としては大きいのではないのでしょうか。 | 自伐協 |
| 30 | 森林環境税により間伐が主な事業として進められる現状をどのようにお考えですか | 同税は環境保全と森林資源管理の両面から考えることを重要としています。伐採するだけの間伐で終わるのでなく、その山に入り続けられるような環境を作り、何よりそれを実践し続けることのできる「担い手」の育成も必要と考えています。 | 自伐協 |
| 31 | これから来年から森林環境税が始まり、森林環境譲与税が財源となり本格的に林業整備が始まります。今行われているのは皆伐が主なののでしょうか。これから税金を使ってこれが行われると逆効果になります。どうお考えですか。 | その通りだと思います。皆伐に環境税を使えば実際は「森林環境破壊税」になってしまいかねないですね。奈良市はそうならないような判断を下してくれています。他の市町村も奈良市のような展開をするように説得していくことが重要だと感じます。 | 自伐協 |
| 32 | 行政の支援がないと成り立たないと思うが、首長が変わり支援が得られないリスクはないか。 | 自伐型林業推進協会では奈良市様以外にも全国の市町村自治体と連携して自伐型林業の事業を推進しています。首長や担当者が | 自伐協 |

| | | | |
|----|---|--|-----|
| | | <p>変わることはもちろんあります。それは林業だけに限らないことです。その際には、前任の方の思いを引き継いで続けて行えたり、自治体の方針によっては、事業自体が終了になったりすることも、もちろんあります。自伐型林業推進協会としては、首長や担当者が変わったとしても、引き続き自伐型林業を推進していく意義等についてご理解を頂くための活動を行っています。</p> | |
| 33 | <p>自伐型林業をしたいと思っているのですが、私の地域では「木の駅」や原木市場などがなさそうです。そういった場合は伐った木はどこに持っていけばいいのでしょうか。</p> | <p>地方の地域で自伐型林業を行う場合、木材の販売先や処理方法を見つけることは重要です。地元の製材所のような加工業者を調べて問い合わせたり、市内になくても近隣にある共販所・木材協同組合などを探してみたり、原木だけでなく薪やホダ木に加工してみたり、手段はいろいろとあると思います。まずは地域の木材需要を調査し、どのような木材が求められているかを把握してみたいかがでしょうか。</p> | 自伐協 |
| 34 | <p>自伐型林業と小規模農の両立について、“農”の部分は、自給用の規模で収入は自伐型からでしょうか。実践されている方の林業と農(業)のバランスはどのようなものでしょうか 山と畑の、①広さ②作業日数(週に何日が森での作業か)③収入の割合④季節的な山と畑の作業の割合などが知りたいです。</p> | <p>兼業する農業はまずは自給が重要だと思います。農地が一定確保できていたり、技術が伴っていたりする人は徐々に業化できればなおよいですね。バランスとしては自伐が主で年収3~400万円、の業収入等が100万円前後というのがバランスよいのではと考えています。以前、畜産と兼業していた方は、朝9時までと夕方15時以降は畜産、9~15時まで林業という風な感じでシェアしていました。秋冬が林業で春夏が農業や観光と季節でわかれるのが一般的だと思います。</p> | 自伐協 |
| 35 | <p>子どもたちが拾ってきたどんぐりを植えさせて、育てさせて、大きく育て、育ったどんぐりを再び山に植えるプログラムを行っていますが、せっかく大きく育ったどんぐりを植える山に困っています。自伐型林業と上手くコラボできないのでしょうか。</p> | <p>自伐型林業を実践しながら、間伐で空いたところに植林をしてみるなどあるかと思います。ただし、林内の環境を大きく変えるような過度な間伐には注意して下さい。</p> | 自伐協 |
| 36 | <p>自伐型林業では生産される木材の量はどれくらいになるのでしょうか。在来型の50年で皆伐だと500~600 m³/haになるのでしょうか(間伐+皆伐)(仮に÷50とすると10~12 m³/ha・年)？</p> | <p>年間5ha程度実施する人は、1回目の間伐(未整備林状態)では100~200m³程度生産する場合があります。間伐が繰り返され面積当たりの蓄積量が増えた山林では、もうちょっと増えてくると思います。1回目の間伐時は未整備林の基盤整備ととらえて、作業道の敷設を主として劣勢木の生産(B~C材)に留め、良質材出荷は控えた方がよいと思います。</p> | 自伐協 |
| 37 | <p>自伐林家さんは労災保険をどうされていますか。</p> | <p>個人で労災に入っていることが多いです。奈良県の大和森林管理協会では自伐型林業者に向いている保険を準備しているので問い合わせしてみてもいいかもしれません。</p> | 自伐協 |